





初めから  
こうする  
つもりだったし

まあいつか



やっぱ  
綾以外の子と  
エッチなこと  
できないかー

しゃーない



なんで  
脱いでるの!?

なんでって

巨大化するからに  
決まってんじゃん

このまま大きくなると  
服破れちゃうし



えっ  
ちよっと



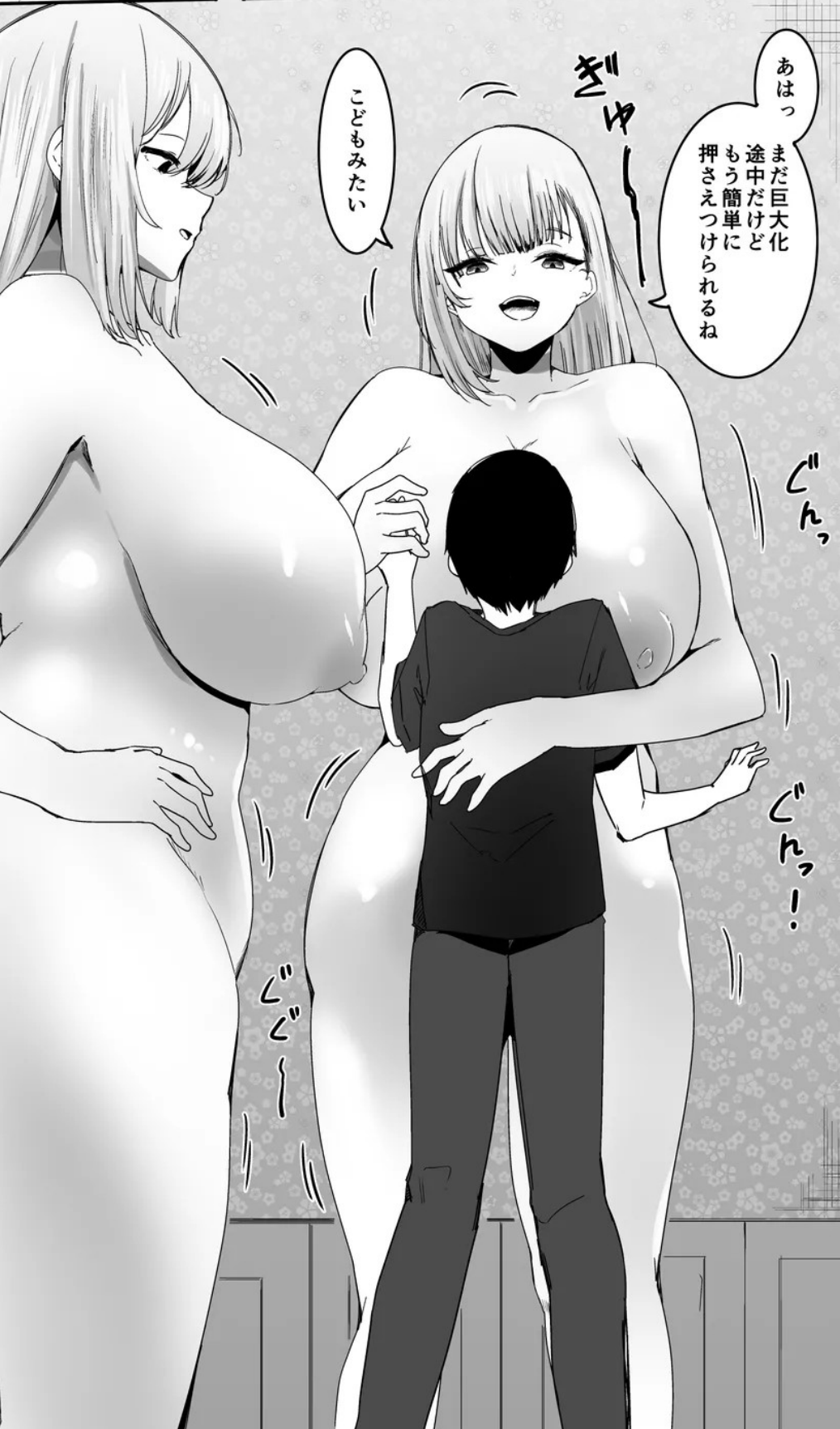
ドリンク持った?

一緒に  
大きくなる

はいよー

せーの







おれ、

おれっ

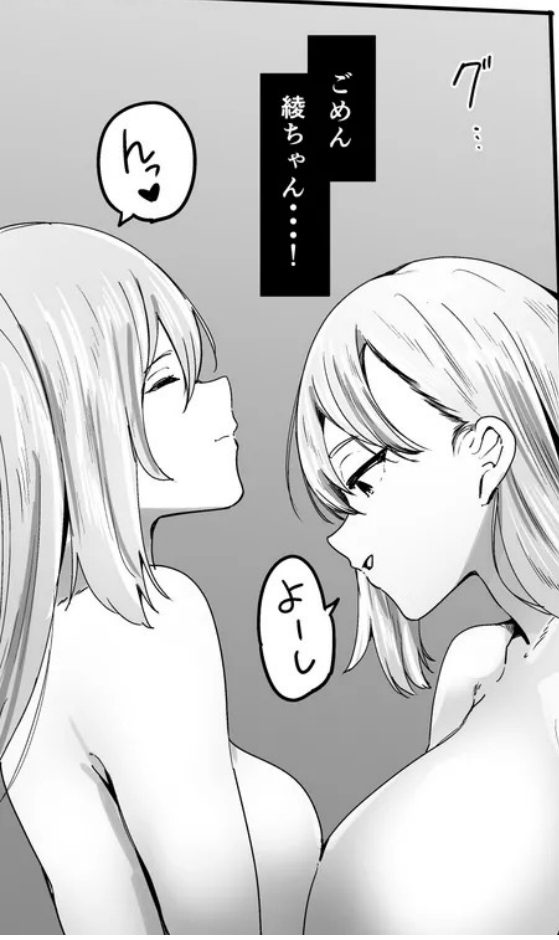
逃げなきゃ  
でも

もう  
2倍に大きくなった  
女の子2人から  
逃げられるわけがない……!



ふふ  
まだ大きくなるよ

カラダ  
あっつー



んっ

ごめん  
綾ちゃん……!

よーっ



それに  
正直  
二人が大きくなってく  
状況が魅力的すぎる

グ  
グ

グ

巨大化完了

ズーゾーゾー!

おー  
まこと  
小さくなったねー

……って  
このやりとり  
巨大化あるあるすぎて  
飽きたよね

みぢっ♡

わわっ……♡  
そう？  
決め台詞みたいで  
私は好き

まことが小さくなった  
んじゃなくて  
私達が大きくなったんだよ

じゃまことの服  
脱がしてこっか  
ついでに  
私たちは  
軽く服着よ

んぢっ!!

ぎぢっ!!



悪いけど  
私たちあんなに  
優しくできないよ?

もしかして  
綾びに襲われて  
慣れたから?

あんまり  
抵抗しないね



かる〜い♡



ぎゅ

んぐっ!  
♡

んぐっ!



ねえ  
早く  
ちよーだい♡

あんず  
がつつきすず  
楽



巨大化したら  
汗かいてきたし  
とりあえず舐めて  
綺麗にして

ぎゅー!

ぎゅー!

んぶっ!?



私はこっぴ♡

んぶっ!♡

いただきませーす♡



体が大きい分  
大量の汗が  
口の中に!

あっ♡  
ちっちゃい口が  
吸い付いてくる♡

かっ  
かわこっ

びゅん

びゅん

おー  
カンタンに  
入る♡

にゅわんにゅわん  
にゅわんにゅわん  
にゅわんにゅわん



ちっちゃいの  
ちゃん  
硬いから  
なんか  
変な  
感じ

あー！  
一瞬で  
全部っ  
入って…



全然奥まで  
入ってこない  
まこと  
ちっちゃすぎ

むちゅ♡



これは私たち  
満足させるのに  
何回イくことになるね

まこと  
がんばれー  
みちゅ♡  
みちゅ♡

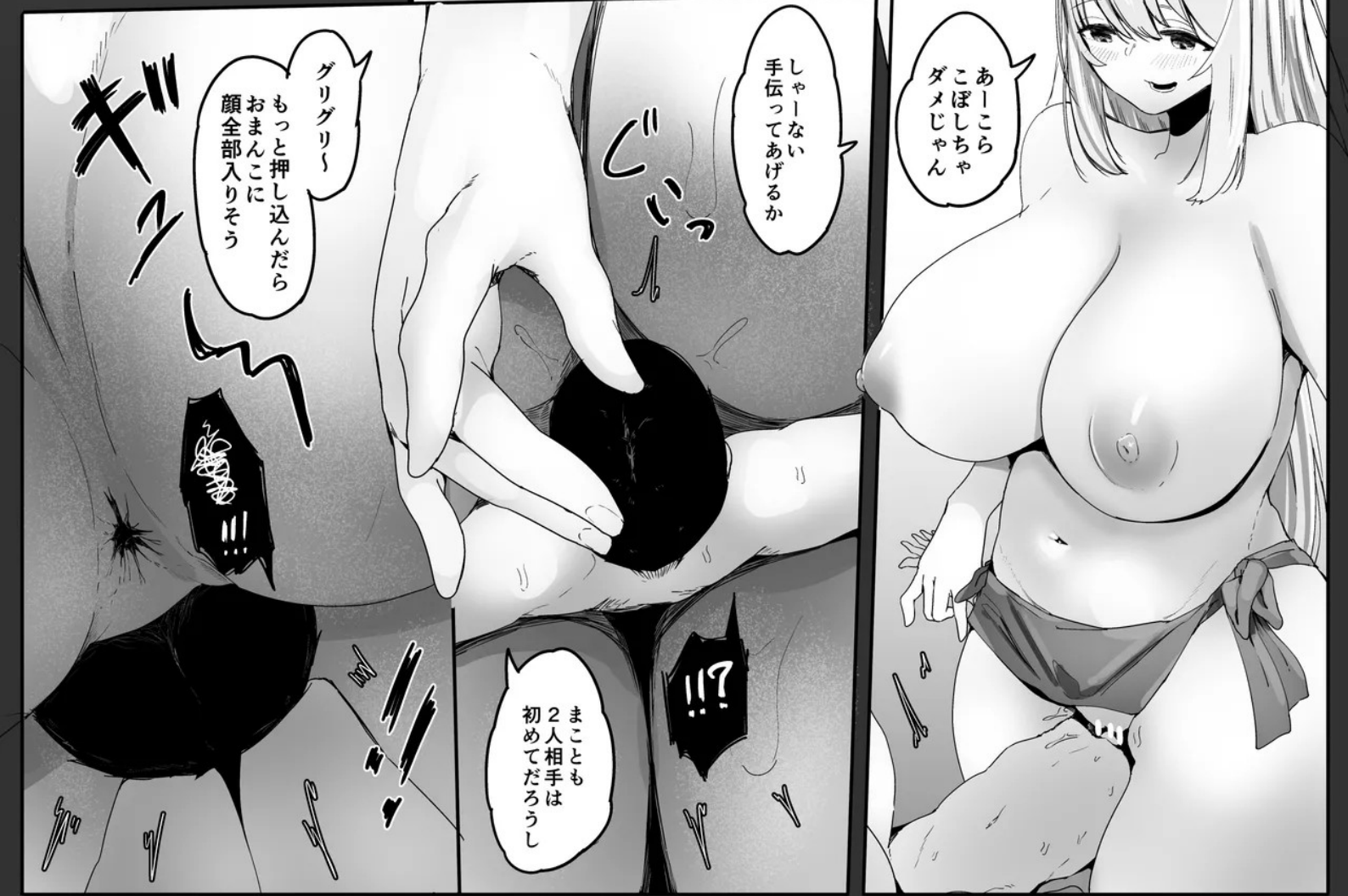


はあ  
これこれ♡  
私たちは  
全然チカラ入れてないし  
余裕なのに  
まことは必死なのが  
まさに「使う」って感じて  
エロいんだよね



動かすよ

あっ  
まっ  
まっ！！







え!?

!!?



ムリだ…  
こんなに  
重くて巨大な  
相手を

気持ちよく  
出来るわけない…!



どこまで  
大きくなるん  
だろーねー?

ね?  
まこと?

そんな!?!  
まだ大きく  
なるなんて!

お  
アタシらの  
カラダ  
まだ大きくなってる  
っほいじゃん

そういうえげ  
2倍で巨大化  
終わるなんて  
書いて無かったもんね

グム!



ほらほら  
どんだん  
私達大きくなってく  
んだからさつきより  
頑張らないとだよ？

今までも少しずつ  
縮んでたけど  
射精すると  
本人でも分かるくらい  
一気に縮むっぼいね



なりんて

しゅわ

しゅわ

私達が  
更に巨大化してる  
なんてウソ♡



やっば  
アタシらが  
使ってあげないと

次  
私挿入したーい



あはっ♡  
それで  
動いてるの？  
かわいいー♡  
もうまこと一人じゃ  
まともに性行為  
できないね

もぎ!!!



本当はあんずの  
アソコに塗った  
縮小薬のせいで  
マコトが  
小さくなってるのに  
気付いてないんだ

面白から  
このまま黙っておこ







お腹の中の匂いや圧力がきつくと凄いなと思う

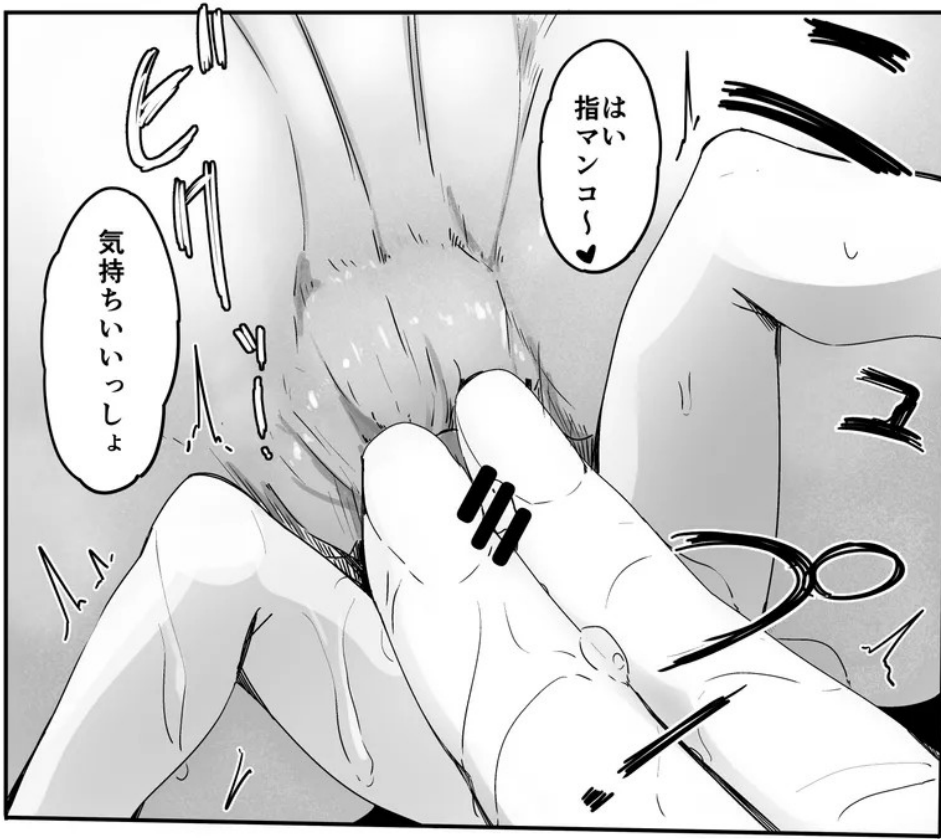
そして今の私2倍に巨大化してるからなおさら...

お尻の出口にわかるおなら溜まってるの  
まことが全部止めてるんだあ

これ気持ちいい  
どうしちゃおう









イきたいー!  
イきたいー!

はあっ!  
はっ!

パチン!

ニョッ



またっ  
今度は  
たっぷりお腹から  
出そう



あっ  
射精る!



熱気と圧力と匂いで  
涙が止まらないっ!  
酸素も薄れから  
意識も薄れてから

とにかく早く  
イきたいー!  
イきたいー!

パチン!!  
ニョッ

パチン!!

パチン



ビクッ!!



って  
小さくなってるって  
言っちゃった

あ  
射精したから一気に  
小さくなってる



結局  
出ちゃった...  
おなら

おい  
まこと生きてるー?

ぐった!!



これは

まーでも

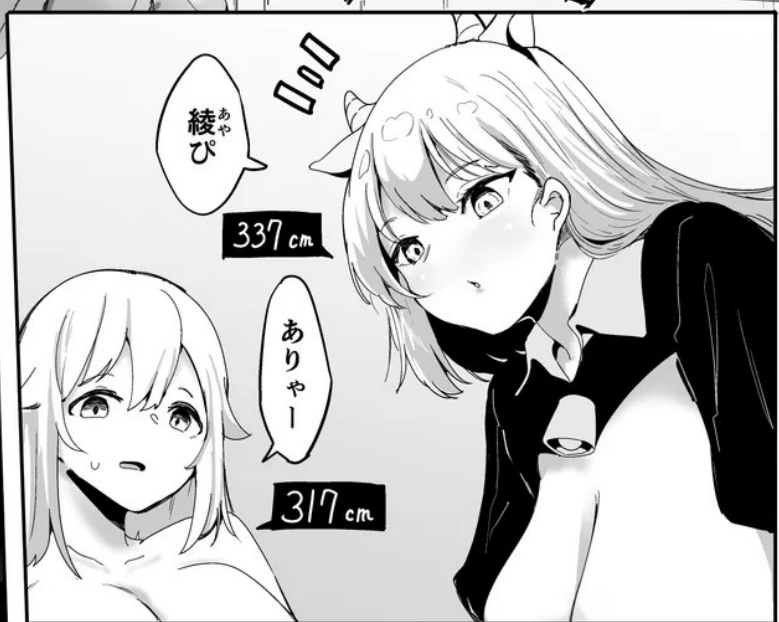


聞こえてなさそう

よっぽど  
射精気持ちよかったのか  
すっごい  
ちっちゃくなったし

続く...





今踏み潰しそうな  
なつてた足の元が  
ちっちゃいのが  
まことだよ

え  
!?

ウソ!  
!?

あぶなっ!  
!





どうして  
こんなに小さく



ぎゅ

だっ

大丈夫!?

!



どうして?

まこと



あんなに  
私の事に  
推してくれたのに



女の子なら  
誰でも良かった  
んだー!



自分から進んで  
私達とエッチな事  
したんだよー

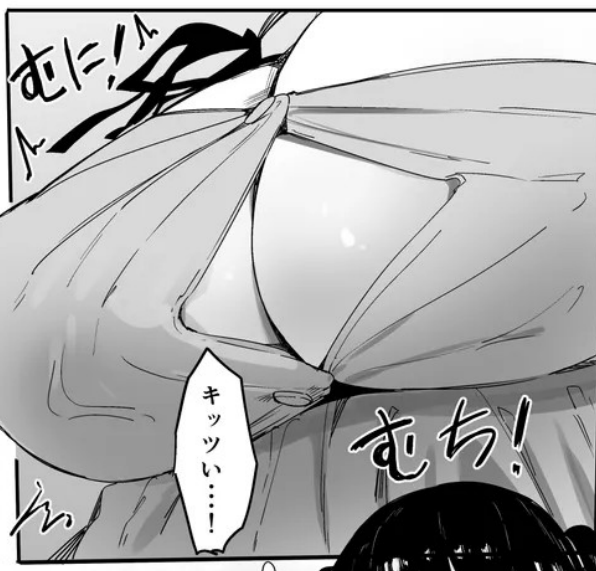
まあ待ってよ  
綾<sup>あや</sup>び  
まことはねー

エッチな事したから  
そんなに小さく  
なったんだよねー

ウソ  
だけど

え







うん...

3180 cm

312 cm

337 cm



今の私から  
見ると  
小さいの？

綾から見たマコト  
0.9mm (1/2000サイズ)

え  
これがまこと？



生きてる!!

1.75 cm

まこと!!



かわいすぎ

そんなに広いと  
思いつきり  
エッチできるね

ほーら

はーやーく♡



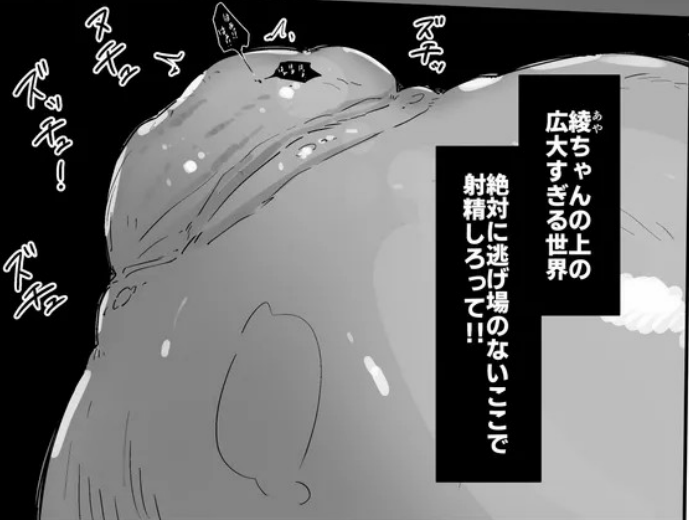
乳首の先つちよに  
置いてもまだ  
ずっと小さい♡

!?

ムリがっ

綾ちゃんの  
おっぱいの上!?

小さくなれ♡



綾ちゃんの上の  
広すぎる世界

絶対に逃げ場のないムリな  
射精しろって!!

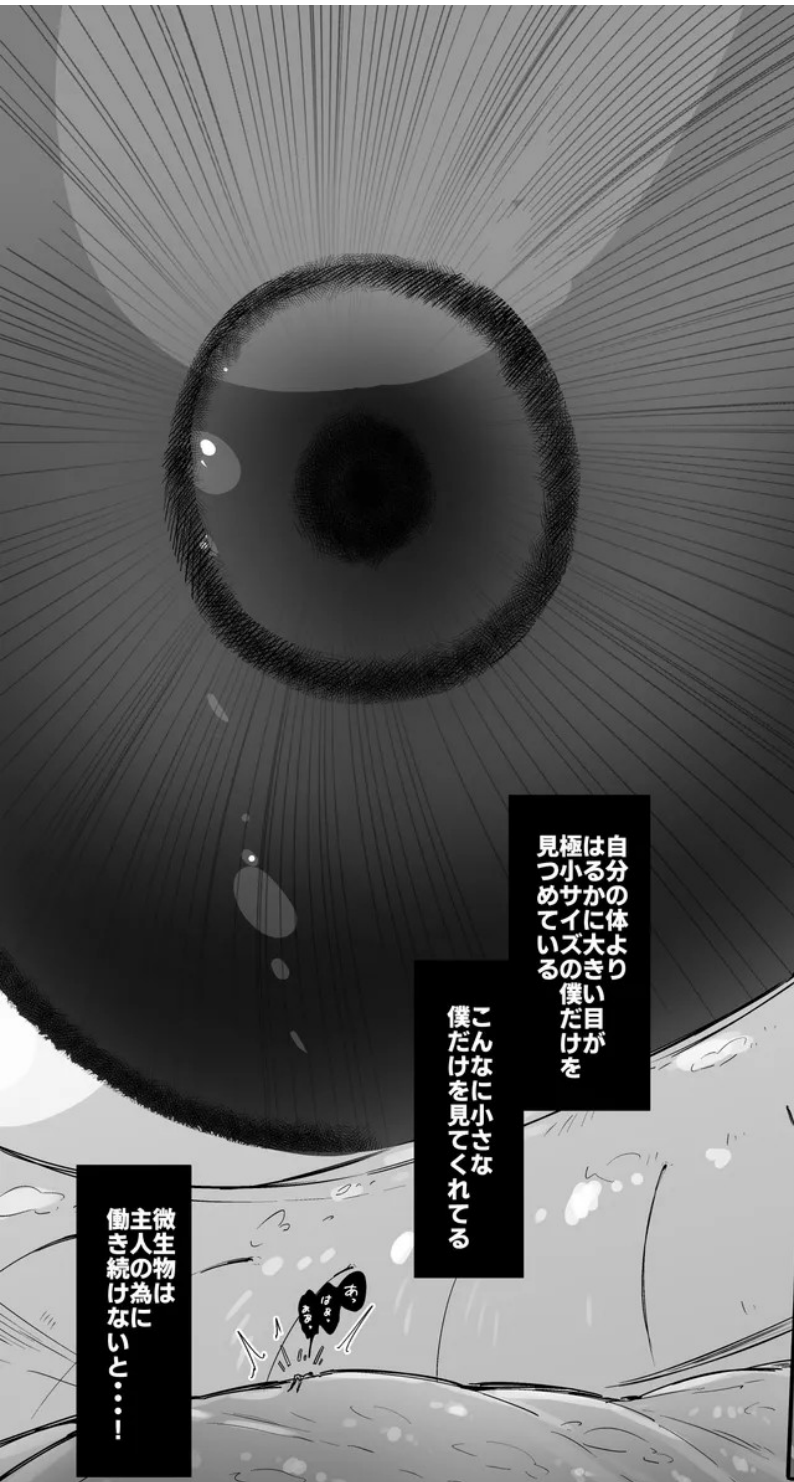
どうしろって  
言われなくても

体が勝手に  
反応する!

はい!

ああ





充滿する綾ちゃんの  
熱や匂い、鼓動も  
主従関係をハッキリさせて  
休まず僕を動かし続ける



もう僕からは  
巨大すぎて  
乳首かどうかわから  
ない



そんな巨大な肉の塊に  
僕は腰を  
振り付けるだけの  
微生物

自分の体より  
小サイズに大きい目  
を見つめている僕だけ  
を

こんなに小さな  
僕だけを見てくれる

微生物は  
主人の為に  
働き続けないと……!



2人だけで  
楽しんでる

しゃない



わあ  
こんなちっちゃいの  
に  
小刻みに動いてるの  
に

可愛い





じれったいなあ

はやくう

もつともーっと  
小さくなれ



これ  
小さくなってるのかなあ

縮小サイズ  
1/1000

なんかちっちゃいやいのが  
モゾモゾ動いてるように  
見えるけど



あっ♡  
見えなくな  
っちゃった

よかった  
ちゃんと  
小さくなってる



はあ♡

これ  
ヤバ♡

縮小サイズ  
1/10000



周りがとてつもない  
速度で遠くなっていくっ！

縮小がっ

止まらない……！

しゅる

しゅる

びゅっ

ズクズク

まことにとってそこは私でも  
わかんないくらい  
おっきなおっきな  
おっぱいの上の世界に  
なっちゃったんだ

私の無意識な呼吸や鼓動でも  
耳を塞がなくて弱いやならぬ程  
なっただよ

ドグン

あーん！  
かわいいすぎ♡

一生閉じ込めたい♡

ねえ  
聞こえてる？

は  
あ♡  
微生物になっちゃった  
まことに女神の私から  
特別に命令してあげる

そろそろ  
帰ろっか

うん







後日

おかえり  
なさいませませ!

おちぢちゃん!



色んなことが  
起こるけど

生粋の  
サイズフェチの僕は  
このお店が好きです

おしまい

